

## 平成24年度 第4回CCC社会学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年9月21日（金）午後5時から午後7時まで

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：奥村委員、土屋委員、津田委員

### 1. 学士力実現に求められる教育改善モデルの検討

#### (1) 学士力の到達目標の前文に関する検討

他分野における学士力到達目標との比較検討が行われた結果、「社会学は…」から始めて社会学のミッションについて述べるという構成となった。次に、現代社会の状況や課題について論じ、社会学教育の目標を記述することになった。具体的な課題としては、グローバル化、情報化、経済格差、リスク社会化、個人化、ジェンダー、公正、移民などが挙げられ、それぞれの項目に関して検討が行われた。

#### (2) 到達目標1に関する検討

まず、到達目標を達成することがなぜ必要なのかを述べた上で、達成目標について論じることになった。次に、そのための具体的な内容について記述するという構成になった。

#### (3) 到達目標2に関する検討

ミクロ社会学の意義に関連して社会秩序の権力性についての議論が行われた。その結果、自由で公正な社会の条件を理解するために、ミクロ社会学が必要だという認識にもとづいて、文章の修正が行われた。

#### (4) 到達目標3に関する検討

現代社会に対する俯瞰的な理解を実現するために、マクロ社会学が必要だという認識にもとづいて、文章の修正を行った。「ヒト・モノ・カネ・情報」という表記法で統一することになった。

#### (5) 到達目標4に関する検討

調査の内容は数量的なものだけではなく、インタビュー等の質的調査も含むということが確認された。

#### (6) 到達目標5に関する検討

「逼迫した社会状況を共生の視点から見直す」ということが、到達目標5を目指すこと理由として合意された。「透徹した視点」という表現に関する議論が行われ、「自由と公正を踏まえ透徹した視点」で決着した。

### 2. 今後の検討スケジュールについて

事務局側から、教育改善モデルに関する図の制作が提案された。